

坐すよしなるべしと云り、

神位

本國神名帳、從三位稚村明神、

神領

當國太田文_二文_三稚村宮二反秋里名、

波古神社

波古は假字也○祭神詳ならず○上中郡堤村に在す、志國志、郡縣例祭八月朔日、

神位

本國神名帳、從三位宮明神、

久須夜神社

久須夜は假字也○祭神大己貴命志國志、郡縣○下中郡堅海浦久須夜嶽下に在す、考上例祭二月十一日、九月十一日、

神位

本國神名帳、從二位久須夜明神、

彌和神社

彌和は假字也○祭神大物主神歟○賀茂村大戸に在す、考今三輪大歲彦明神と稱す、例祭官社私考に、國人修驗杉本院委近云賀茂村の内大戸と云處に、三輪大歲彦明神と申て、山

の麓に神籬の形ありて社なし、今其神籬を疱疹の護神なりと稱て、神名を識るもの少し、
こは里の老人に質問定たる處なり、これ彌和神社なる事考かるべしと云り、

類社

大和國城上郡大神大物主神社の條見合すべし

神位

本國神名帳、從三位御和大明神、

丹生神社

丹生は爾布と訓べし、和名鈔、志國志丹生の如し○祭神罔象女神歟○下中郡多良庄村に在す、志國志、郡縣今一宮と稱す、例祭月日、○三方郡にも丹生神社、仁布神社あり、

若狹國志に、今稱一宮蓋此也、相傳祭遠敷明神故亦稱一宮、丹生今日、多良庄、有、坂猶存丹生名、官社私考に、地名をもて神社の名に申せるなりといへり、志國志元來雨師神を祭れるが、其後庄内に神社相増てより、京初鎮坐の故なるを以て一宮と稱し、に、國內一宮とだにいへば、遠敷明神也と思ひまがひて、しかいひ誤れるならん、また地名を以て神號に負せたるにはあらず、神號をもて地名としたるなるべし、志國志猶考ふべし、○志國志元來、按るに、當國に丹生神社二社、仁布神社、越前國に丹生郡、また丹生神社あるは、由縁ある事なるべし、

類社